

浜の活力再生プラン  
令和 6 ～ 1 0 年度  
第 3 期

## 1 地域水産業再生委員会

組織名	川内地区地域水産業再生委員会
代表者名	会長 今 進 (川内町漁業協同組合 代表理事組合長)

再生委員会の構成員	川内町漁業協同組合 青森県 (下北地域県民局地域農林水産部 下北地方水産事務所) むつ市 (水産課、川内庁舎)
オブザーバー	株式会社マック (潜水調査会社)

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	地 域 : 青森県むつ市川内町 (川内町漁協) 漁業の種類 : ホタテガイ養殖漁業 (63 経営体) (その他、なまこ雑桁網漁業、刺網漁業、籠漁業を兼業) (令和 4 年度 1 2 月 3 1 日現在)
-------------------	---

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>むつ市川内地区は、青森県下北半島南西部に位置する、漁業・林業が基幹産業の地域である。地域には、2 級河川の「川内川」をはじめ、大小合わせて 8 本の河川が存在しており、河川から海に栄養塩が供給され、良好な漁場が形成されている。</p> <p>当地域の令和 4 年度の漁業生産金額は 10.5 億円で、うちホタテガイが 4.6 億円、ナマコが 5.6 億円と、2 魚種で生産金額全体の 97% を占める。</p> <p>ホタテガイについては、養殖 (籠、耳吊り) と地まき増殖で、成貝 (加工・活貝向け) を主に生産・出荷している。近年では、夏・秋に漁場の水温が高く推移したことにより、養殖ホタテガイが大量にへい死しており、今後は研究機関 ( (地独) 青森県産業技術センター水産総合研究所 (以下、青森水総研) ) とともに、高水温によるへい死抑制に向けた対策を講じていく。また、当地区はホタテの産地であるが、より安価で手軽に調理ができる肉類の消費拡大によって、川内産ホタテを食する機会は減少していると考えられる。よって今後は、川内地区のホタテの周知を促進するべく、地域イベントに積極的に参加し、消費者へホタテの魅力を普及していくことに努めたい。</p> <p>ナマコについては、主に桁網や潜水で漁獲し、加工向け大型サイズを主に出荷している。また、川内町漁協は、ナマコ資源を持続的に利用するため、当委員会構成員に加え、青森水総研が参加した「ナマコ資源有効利用推進協議会」 (以下、推進協議会) を設置している。協議会では、ナマコ漁場の造成や種苗放流等に関する事項を検討しているほか、ナマコ漁業の操業開始にあたり、「漁獲目標」を設定している。懸念事項について、現在、「ALPS 処理水放出」による海外出荷向けの加工用サイズのナマコの買い控えが続き、ナマコ漁業の先行きを見通すことができず、苦慮している。</p>
---

## (2) その他の関連する現状等

<p>当地区は人口の減少、高齢化ともに顕著であり、生活基盤を近隣の都市であるむつ市へ大きく依存しているのが現状であるが、下北縦貫道路が東通 IC-むつ奥内 IC が 2025 年度開通予定のため、観光、物流等地域活性化の足掛かりとして期待している。</p>
--

### 3 活性化の取組方針

#### (1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

#### (2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

(1) 漁業収入向上のための取組 ①ナマコの漁獲量向上のため、種苗生産放流による資源量の増大を図る。 ②養殖ホタテガイの安定生産のため、養殖施設の管理に努める。 (2) 漁業コスト削減のための取組 ①減速航行および船底清掃による省燃油活動の実施。 (3) 漁村の活性化のための取組 ①地域イベントへの参加等、地域活性・宣伝活動の推進を図る。
--

#### (3) 資源管理に係る取組

<p>川内町漁協では、ナマコ資源を将来にわたり持続的に利用するため、ナマコ有効利用推進協議会を設置し、「ナマコ漁場の造成」、「全長12cm未満（重量120g未満）の個体の再放流」、「保護区の設置」といった事項について話し合い、方針を定めている。青森県海面漁業調整規則による漁獲サイズ等の制限に加え、漁協独自の漁獲サイズ（250～300g/個体）や漁獲期間（10月～4月）及び保護区域を設定し、資源の維持管理に努めている。</p> <p>「漁獲量の設定」には、毎年春に漁場内9地点の資源量を調査して算出した「漁獲可能量」を考慮したうえで、漁期の初めに実施する試験操業で水揚げしたナマコの単価及び漁獲量に基づき、当年の「漁獲量」を設定している。また、密漁対策として、沿岸に監視カメラを設置し、漁協職員が常に漁場を監視できる体制を整備している。</p> <p>養殖ホタテガイは、持続的養殖生産確保法第4条の規定に基づき、陸奥湾地区良質ホタテガイ安定生産推進漁場改造計画を作成し、養殖漁業者の生産の安定を図るため、計画内容を的確に履行するものとし、養殖漁場環境の改善と陸奥湾におけるホタテガイの安定生産を図るために導入した「TASC制度」を推進して、ホタテガイの安定供給を目指す。</p>
--

#### (4) 具体的な取組内容

1年目（令和6年度） 所得向上率（基準年比）0.61%

漁業収入向上のための取組	①ナマコの漁獲量向上のため、種苗生産放流による資源量の増大 漁業者は、桁網の操業によって、1経営体あたり5,154千円のナマコ漁獲を目指す。 単価の変動に応じた柔軟なナマコの漁獲目標の設定を可能にすべく、漁場内の漁獲量の上限である「漁獲可能量」のサブ指標とし、増大を目指す。資源の増大を図るため、ナマコ資源有効利用促進協議会で、ナマコ漁場造成、天然採苗、人工種苗放流、漁獲目標設定の実施に関する検討と、取組の評価・改善を行う。ホタテ貝殻等を利用した増殖場の設置「ナマコ漁場造成」や、桁曳きによる漁場清掃等、減少傾向にある小型個体の資源量の増加を促すために、（一社）青森県栽培漁業振興協会が当地区ナマコを親として生産した種苗と、川内町漁協が加工施設内の蓄養水槽で生産した種苗を放流する。そして、推進協議会で、実施した取組のフィードバックを行う。
--------------	---

	<p>②養殖ホタテガイの安定生産のため、養殖施設の管理</p> <p>ホタテガイ養殖について、漁業者は安定生産のため、青森水総研の指導の下、適正な収容枚数や連間隔についてルールを設定して継続的な生産に努める。また、春先の低水温や夏場の高水温によるへい死被害を抑制するため、川内町漁協と協力して定期的に水温を把握し、養殖施設の設置水深の調整等で養殖管理を徹底し、漁業収入の向上に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>①減速航行および船底清掃による省燃油活動の実施</p> <p>漁業者は、第1期浜プランより継続し、各船の船底、舵、プロペラ等を洗浄、研磨、塗装するとともに、航行中においては1ノットの減速航行することで燃料消費削減に取り組み、漁業コストの削減を図る。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>①地域イベントへの参加等、地域活性・宣伝活動の推進</p> <p>地元地域への取組として、地域イベントへの参加など、ホタテガイ及び関連商品の宣伝活動を推進し、魚離れ解消へ周知に努める。</p>
活用する支援措置等	<p>水産業振興対策事業（市） 省燃油活動推進事業（国） ALPS基金事業（国） 浜の活力再生・成長交付金（国）</p>

2年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比）0.61%

漁業収入向上のための取組	<p>①ナマコの漁獲量向上のため、種苗生産放流による資源量の増大</p> <p>漁業者は、桁網の操業によって、1経営体あたり5,154千円のナマコ漁獲を目指す。</p> <p>単価の変動に応じた柔軟なナマコの漁獲目標の設定を可能にすべく、漁場内の漁獲量の上限である「漁獲可能量」のサブ指標とし、増大を目指す。資源の増大を図るため、ナマコ資源有効利用促進協議会で、ナマコ漁場造成、天然採苗、人工種苗放流、漁獲目標設定の実施に関する検討と、取組の評価・改善を行う。ホタテ貝殻等を利用した増殖場の設置「ナマコ漁場造成」や、桁曳きによる漁場清掃等、減少傾向にある小型個体の資源量の増加を促すために、（一社）青森県栽培漁業振興協会が当地区ナマコを親として生産した種苗と、川内町漁協が加工施設内の蓄養水槽で生産した種苗を放流する。そして、推進協議会で、実施した取組のフィードバックを行う。</p> <p>②養殖ホタテガイの安定生産のため、養殖施設の管理</p> <p>ホタテガイ養殖について、漁業者は安定生産のため、青森水総研の指導の下、適正な収容枚数や連間隔についてルールを設定して継続的な生産に努める。また、春先の低水温や夏場の高水温によるへい死被害を抑制するため、川内町漁協と協力して定期的に水温を把握し、養殖施設の設置水深の調整等で養殖管理を徹底し、漁業収入の向上に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>①減速航行および船底清掃による省燃油活動の実施</p> <p>漁業者は、第1期浜プランより継続し、各船の船底、舵、プロペラ等を洗浄、研磨、塗装するとともに、航行中においては1ノットの減速航行することで燃料消費削減に取り組み、漁業コストの削減を図る。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>①地域イベントへの参加等、地域活性・宣伝活動の推進</p> <p>地元地域への取組として、地域イベントへの参加など、ホタテガイ及び関連商品の宣伝活動を推進し、魚離れ解消へ周知に努める。</p>
活用する支援措置等	<p>水産業振興対策事業（市） 省燃油活動推進事業（国） ALPS基金事業（国） 浜の活力再生・成長交付金（国）</p>

3年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比）0.61%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①ナマコの漁獲量向上のため、種苗生産放流による資源量の増大                  漁業者は、桁網の操業によって、1経営体あたり5,154千円のナマコ漁獲を目指す。                  単価の変動に応じた柔軟なナマコの漁獲目標の設定を可能にすべく、漁場内の漁獲量の上限である「漁獲可能量」のサブ指標とし、増大を目指す。資源の増大を図るため、ナマコ資源有効利用促進協議会で、ナマコ漁場造成、天然採苗、人工種苗放流、漁獲目標設定の実施に関する検討と、取組の評価・改善を行う。ホタテ貝殻等を利用した増殖場の設置「ナマコ漁場造成」や、桁曳きによる漁場清掃等、減少傾向にある小型個体の資源量の増加を促すために、（一社）青森県栽培漁業振興協会が当地区ナマコを親として生産した種苗と、川内町漁協が加工施設内の蓄養水槽で生産した種苗を放流する。そして、推進協議会で、実施した取組のフィードバックを行う。</p> <p>②養殖ホタテガイの安定生産のため、養殖施設の管理                  ホタテガイ養殖について、漁業者は安定生産のため、青森水総研の指導の下、適正な収容枚数や連間隔についてルールを設定して継続的な生産に努める。また、春先の低水温や夏場の高水温によるへい死被害を抑制するため、川内町漁協と協力して定期的に水温を把握し、養殖施設の設置水深の調整等で養殖管理を徹底し、漁業収入の向上に努める。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>①減速航行および船底清掃による省燃油活動の実施                  漁業者は、第1期浜プランより継続し、各船の船底、舵、プロペラ等を洗浄、研磨、塗装するとともに、航行中においては1ノットの減速航行することで燃料消費削減に取り組み、漁業コストの削減を図る。</p>
<p>漁村の活性化のための取組</p>	<p>①地域イベントへの参加等、地域活性・宣伝活動の推進                  地元地域への取組として、地域イベントへの参加など、ホタテガイ及び関連商品の宣伝活動を推進し、魚離れ解消へ周知に努める。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>水産業振興対策事業（市）                  省燃油活動推進事業（国）                  ALPS基金事業（国）                  浜の活力再生・成長交付金（国）</p>

4年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比）5.95%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>①ナマコの漁獲量向上のため、種苗生産放流による資源量の増大                  漁業者は、桁網の操業によって、1経営体あたり5,335千円のナマコ漁獲を目指す。                  単価の変動に応じた柔軟なナマコの漁獲目標の設定を可能にすべく、漁場内の漁獲量の上限である「漁獲可能量」のサブ指標とし、増大を目指す。資源の増大を図るため、ナマコ資源有効利用促進協議会で、ナマコ漁場造成、天然採苗、人工種苗放流、漁獲目標設定の実施に関する検討と、取組の評価・改善を行う。ホタテ貝殻等を利用した増殖場の設置「ナマコ漁場造成」や、桁曳きによる漁場清掃等、減少傾向にある小型個体の資源量の増加を促すために、（一社）青森県栽培漁業振興協会が当地区ナマコを親として生産した種苗と、川内町漁協が加工施設内の蓄養水槽で生産した種苗を放流する。そして、推進協議会で、実施した取組のフィードバックを行う。</p> <p>②養殖ホタテガイの安定生産のため、養殖施設の管理                  ホタテガイ養殖について、漁業者は安定生産のため、青森水総研の指</p>
---------------------	---

	導の下、適正な収容枚数や連間隔（についてルールを設定して継続的な生産に努める。また、春先の低水温や夏場の高水温によるへい死被害を抑制するため、川内町漁協と協力して定期的に水温を把握し、養殖施設の設置水深の調整等で養殖管理を徹底し、漁業収入の向上に努める。
漁業コスト削減のための取組	①減速航行および船底清掃による省燃油活動の実施 漁業者は、第1期浜プランより継続し、各船の船底、舵、プロペラ等を洗浄、研磨、塗装するとともに、航行中においては1ノットの減速航行することで燃料消費削減に取り組み、漁業コストの削減を図る。
漁村の活性化のための取組	①地域イベントへの参加等、地域活性・宣伝活動の推進 地元地域への取組として、地域イベントへの参加など、ホタテガイ及び関連商品の宣伝活動を推進し、魚離れ解消へ周知に努める。
活用する支援措置等	水産業振興対策事業（市） 省燃油活動推進事業（国） ALPS基金事業（国） 浜の活力再生・成長交付金（国）

5年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比）11.28%

漁業収入向上のための取組	①ナマコの漁獲量向上のため、種苗生産放流による資源量の増大 漁業者は、桁網の操業によって、1経営体あたり5,515千円のナマコ漁獲を目指す。 単価の変動に応じた柔軟なナマコの漁獲目標の設定を可能にすべく、漁場内の漁獲量の上限である「漁獲可能量」のサブ指標とし、増大を目指す。資源の増大を図るため、ナマコ資源有効利用促進協議会で、ナマコ漁場造成、天然採苗、人工種苗放流、漁獲目標設定の実施に関する検討と、取組の評価・改善を行う。ホタテ貝殻等を利用した増殖場の設置「ナマコ漁場造成」や、桁曳きによる漁場清掃等、減少傾向にある小型個体の資源量の増加を促すために、（一社）青森県栽培漁業振興協会が当地区ナマコを親として生産した種苗と、川内町漁協が加工施設内の蓄養水槽で生産した種苗を放流する。そして、推進協議会で、実施した取組のフィードバックを行う。  ②養殖ホタテガイの安定生産のため、養殖施設の管理 ホタテガイ養殖について、漁業者は安定生産のため、青森水総研の指導の下、適正な収容枚数や連間隔についてルールを設定して継続的な生産に努める。また、春先の低水温や夏場の高水温によるへい死被害を抑制するため、川内町漁協と協力して定期的に水温を把握し、養殖施設の設置水深の調整等で養殖管理を徹底し、漁業収入の向上に努める。
漁業コスト削減のための取組	①減速航行および船底清掃による省燃油活動の実施 漁業者は、第1期浜プランより継続し、各船の船底、舵、プロペラ等を洗浄、研磨、塗装するとともに、航行中においては1ノットの減速航行することで燃料消費削減に取り組み、漁業コストの削減を図る。
漁村の活性化のための取組	①地域イベントへの参加等、地域活性・宣伝活動の推進 地元地域への取組として、地域イベントへの参加など、ホタテガイ及び関連商品の宣伝活動を推進し、魚離れ解消へ周知に努める。
活用する支援措置等	水産業振興対策事業（市） 省燃油活動推進事業（国） ALPS基金事業（国） 浜の活力再生・成長交付金（国）

(5) 関係機関との連携

当委員会は、青森水総研及び株式会社マックと協同して、資源量調査や漁場の潜水調査をはじめとした各種調査・測定を毎年実施する。また、推進協議会を開催し、協議会の場において、青森水総研からの指導をもとに、ナマコ資源の増大に向けた必要な対策等について検討する。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

各種調査・測定で得られた結果と、青森水総研による指導をもとに、推進協議会の場において、取組の評価・分析と、今後に向けた改善計画の策定を行う。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上 10%以上	基準年		千円
			千円
	目標年		千円
			千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

なまこ漁獲可能量	基準年	令和5年度:	127.5	(t)
	目標年	令和10年度:	145.0	(t)
地域イベント参加回数	基準年	令和1、4、5 年度3ケ年平均:	3	(回)
	目標年	令和10年度:	4	(回)

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

なまこ漁獲可能量について、平成30年度～令和4年度5中3平均を基礎として令和6年度～10年度までの数値目標を設定した。  
地域イベント参加回数については、実際に参加した令和1、4、5年度の3ケ年平均を基準として、令和6～10年度までの数値目標を設定した。

## 5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
水産業振興対策事業（市）	ナマコ増殖事業により、稚ナマコの生育環境を整備するなど、ナマコの増殖に努め漁業収入の向上を図る。
ALPS基金事業（国）	燃油量の削減（漁船船底清掃等による抵抗削減）により、漁業者に支援を図る。
浜の活力再生・成長交付金（国）	監視カメラを活用し、密漁監視体制の強化を図る。
省燃油活動推進事業（国）	燃油量の削減（減速航行、漁船船底清掃等による抵抗削減）